

みずほCustomer Desk Report 2019/07/10号(As of 2019/07/09)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.88
TKY 9:00AM	108.73	1.1216	121.95	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	108.96	1.1219	122.13	1.2516	0.6972
SYD-NY Low	108.68	1.1194	121.86	1.2521	0.6975
NY 5:00 PM	108.86	1.1208	122.00	1.2439	0.6920
NY DOW	26,783.49	▲ 22.65	日本2年債	-0.2000	1.00bp
NASDAQ	8,141.73	43.35	日本10年債	-0.1500	0.00bp
S&P	2,979.63	3.68	米国2年債	1.9168	3.09bp
日経平均	21,565.15	30.80	米国5年債	1.8880	3.48bp
TOPIX	1,574.89	▲ 3.51	米国10年債	2.0709	2.42bp
シカゴ日経先物	21,515	▲ 80	独10年債	-0.3550	1.25bp
ロンドンFT	7,536.47	▲ 12.80	英10年債	0.7185	0.50bp
DAX	12,436.55	▲ 106.96	豪10年債	1.3225	▲ 0.50bp
ハンセン指数	28,116.28	▲ 215.41	USDJPY 1M Vol	5.63	▲ 0.05%
上海総合	2,928.23	▲ 5.13	USDJPY 3M Vol	5.75	▲ 0.02%
NY金	1,400.50	0.50	USDJPY 6M Vol	6.03	0.01%
WTI	57.83	0.17	USDJPY 1M 25RR	-0.95	Yen Call Over
CRB指数	180.71	0.02	EURJPY 3M Vol	5.98	▲ 0.04%
ドルインデックス	97.49	0.11	EURJPY 6M Vol	6.45	0.00%

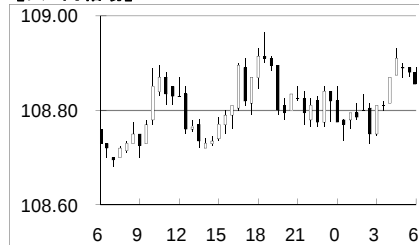
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月10日	03:00	米 ポスティブ・アトランタ連銀総裁「FRBは労働市場加熱のメリットとリスクについて議論している」		

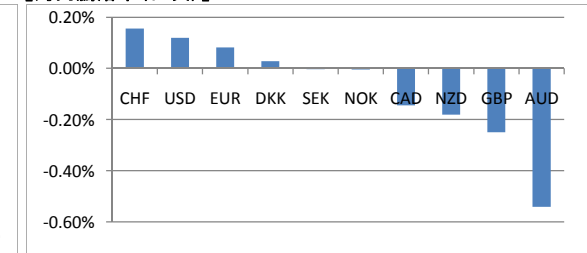
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月10日	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	6月 2.7%/0.2%	2.7%/0.6%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	5月 0.4%	0.4%
	23:00	米 パウエルFRB議長 議会証言		
7月11日	02:30	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演		
	03:00	米 FOMC議事要旨		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.50-109.75	1.1150-1.1250	121.50-122.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は108円台後半で方向感なく推移、108.88レベルでクローズ。5月下旬以来の高値圏まで上昇したドル円だが、米金利が引き続き上昇基調を保つ中、戻り売り圧力は限定的となった。本日はパウエルFRB議長の議会証言が予定されており、利下げへの言及がどの程度までなされるかが注目されている。7月開催のFOMCでの利下げ織り込みは足許25bpsの利下げをほぼ100%織り込んでいる状態であるが、米中通商問題が交渉再開となる中、ややタカ派よりになればドル円は上値を狙う展開も想定される。

東京	東京時間のドル円は108.73レベルでオープン。仲値にかけて上昇し、8日の高値108.81を上抜けると108.89まで一気に上昇し、5月31日以来約1か月ぶりとなる高値を更新。その後も、108.80近辺で底堅く推移し、108.79レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は108.79レベルでオープン。特段目新しい材料が見られない中、108.76から108.96の狭いレンジで推移。108.83レベルでNYに渡った。ボットドルは、1.2490レベルでオープン。親EU派のドミニク・グリーブ元法務長官ら、合意なき離脱阻止を目指す英保守党勢力による「次期首相が議会の同意なく、合意なき離脱を断行する目的で議事を休会にすることができないようにする法案」を、下院議長が審議の対象に選ばなかったことを受け、合意なき離脱への懸念からボンドは下落。一時、1.2439まで下落し、1.2454レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	10日のパウエル議長の議会証言を控え、海外市場でドルショートカバーが強まったことからドル円は108.96まで戻すものの、109円台乗せできず、108.83レベルでNYオープン。主要な米経済指標の発表が予定されていない中、外ロ-米国家経済会議委員長が「パウエル氏解任の試みはない」「ドルは安定し信頼できる通貨であるべき」との発言が伝わり、続いて「ハーカー・フィッデルミア連銀総裁(投票権なし/ハ派寄り)」の「政策金利を変更する必要なし」との発言も伝わるものの、ドル円の反応は限定的となり、108.80付近での推移が続く。NY午後には10日のイベントを控えたポジション調整のなか、ドルが再び買い戻される展開に、ドル円は一時108.93まで戻し、108.86レベルでクローズした。一方、7月5日小売売上高が予想以上に悪化したことや、ドルショートカバーが継続したことから、海外市場で1.1194まで下落したユーロドルは、1.1203レベルでNYオープン。NY朝方はレン・ECB専務理事の「一段の緩和が必要であればECBには手段がある」等の発言があるものの、ユーロドルの反応は限定的となり、狭いレンジでの推移が続く。NY午後に入り明日のパウエル議長の議会証言を控えたポジション調整か、ドル買いが優勢となるものの、ユーロ円の買いに下値をサポートされ、ユーロドルは終日1.1200~14での狭い値動きに終始し、1.1208レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:末木・田家